

ラボ 環境のための Cisco Live データ配備

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[説明](#)

[SPRAWLER 配置タイプ:](#)

[PROGGER 配置タイプ:](#)

概要

この資料はラボ 環境で Cisco Live データのための統一された連絡先センター企業 (UCCE) ソフトウェアのサポートされた配備を記述したものです

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- 統一された連絡先センター企業 (UCCE) ソリューション
- Cisco Live データの機能

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco Live データ バージョン 11.0(2)に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

説明

本番の新しい変更を設定する前に、顧客/パートナーは最初めにテストしますラボの機能をごちです。 UCCE 11.X コードで新しい Cisco Live データはこのカテゴリで下り、 UCCE ソリューションおよびバージョンのラボ 環境特定の配備でそれを正常に設定することは必要です。これはこの機能によってテストされ、サポートされるラボおよびものに対する異なる配置タイプを示します。

[SPRAWLER 配置タイプ:](#)

セットアップ システム 管理およびデータ サーバのこの型では同じサーバーで実行呼び出しルー
タ、ロガーおよびシステム Peripheral Gateway (PG) アプリケーションにロードされます。こ
の設計はライブ データの機能のためにテストされませんし、サポートされません。

注: SPRAWLER サポートおよびテストは UCCE 10.x バージョンから前に非難されました。

PROGGER 配置タイプ:

別の仮想 な ホストのセットアップ 管理およびデータ サーバ実行のこの型では 1 サーバで動作す
るように呼び出しルータ、ロガーおよびシステム PG アプリケーションがします。この環境のラ
イブ データはこれらの条件が満たされる限りはたります

- UCCE はバージョン 11.0(2) または それ 以上にあります

注: UCCE バージョン 11.0(1)は 450 のエージェント Progger 配置のライブ データをサポート
しません。

- CCE 450 エージェント Progger 統一された配置タイプは選択されます
- ライブ データ プライマリおよびセカンダリ (オプションの) サーバはそこにそれぞれ仮想マ
シンに常駐します
- Cisco Unified 知性センター (CUIC) プライマリおよびセカンダリ (オプションの) サーバは
そこにそれぞれ仮想マシンに常駐します